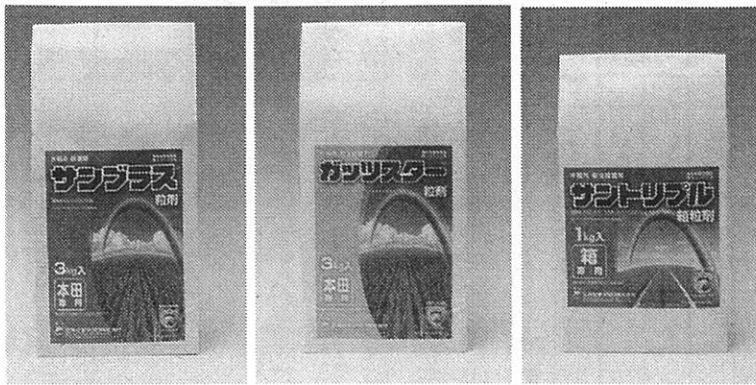


三井化学アグロ

イネいもち病用殺菌剤

「トルプロカルブ」配合3剤発売



三井化学アグロ(株)は、新規有効成分「トルプロカルブ」を配合した水稲用殺菌剤「サンフラス粒剤」、水稲用殺菌剤「ガッツスター粒剤」、「サントリプル箱粒剤」の3剤の販売を3月18日より開始した。

「トルプロカルブ」は、これまで知られている2種のメラニン合成阻害剤とは異なる酵素を阻害する新作用機構で感染を阻害し、高い防除効果を示す殺菌剤だ。浸透移行性に優れており、イネの根から吸収されて効果を発揮する。土壌による効果の変動も受けにくい。また発生拡大が危惧されている呼吸阻害剤Q。

「トルプロカルブ」は、Iに耐性のあるイネいもち病菌や、既存のメラニン生合性阻害剤MBI-Dに耐性を示すイネいもち病菌にも交差耐性を示さず、高い防除効果を発揮するなどの特長がある。有効成分「トルプロカルブ」を含む新発売3剤の適用病害虫は次の通り。  
○「サンフラス粒剤」：いもち病用防除剤。  
○「ガッツスター粒剤」：いもち病、紋枯病、

稲こじ病、ウンカ類、ツマグロヨコバイ防除剤で本田で施用する。

○「サントリプル箱粒剤」：いもち病のほか、もみ枯細菌病、コブノメイガ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネドロオイムシ、イネミスズウムシ、ニカメイチュウ、およびイネツトムシの育苗箱施用防除剤だ。

同社は「トルプロカルブ」剤を、コメの安定生産に貢献する薬剤として育成していく考えだ。なお「サンフラス」「ガッツスター」「サントリプル」は、三井化学アグロ(株)が登録商標を取得している。